



MIDAS Program Guide

プログラムインストール及び認証案内

- はじめに
- 登録完了のお知らせ
- プログラムダウンロード
- プログラムインストール
- ウェブ認証方法
- 緊急用・出張用キー利用方法
-

～ はじめに ～

MIDAS/CivilのWEB認証システムは従来の様にUSBのハードウェアキーを用いず、MIDASIT社の認証サーバーへアクセスしてプログラムの利用可否を確認するシステムです。USBキーの様にドライバを使用しませんのでOSやハードに依存する事なく利用する事ができます。ライセンス体系には以下の2つがあります。

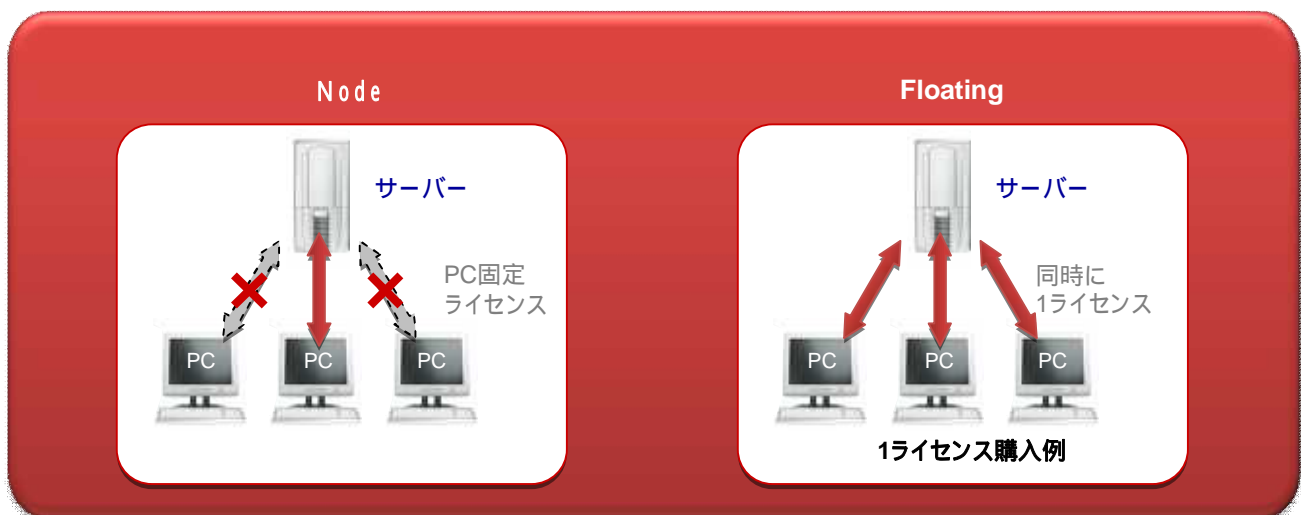
Node

サーバーにMACアドレスが登録され、基本的にPC固定のライセンスとなります。

マシントラブルやリプレースにより変更を余儀なくされる場合にはサポートまでご依頼頂く事により登録済みの情報を削除いたします。情報削除後には新しいPCの登録が可能となります。

Floating

複数のPCで利用できるライセンスとなります。インターネット接続できる環境であれば何処からでも利用する事ができるので複数の拠点でライセンスを共有する事も可能です。契約ライセンス数以内で同時使用できます。



どちらのライセンスタイプの場合にも一時的にインターネット接続せずにプログラムを起動する事ができるオフラインライセンスをご用意しています。尚、オフラインライセンス取得時に保有ライセンスを1つ使用します。

出張用キー

出張やプレゼンテーション等での利用を目的とし1日～90日の期間で利用する事ができます。

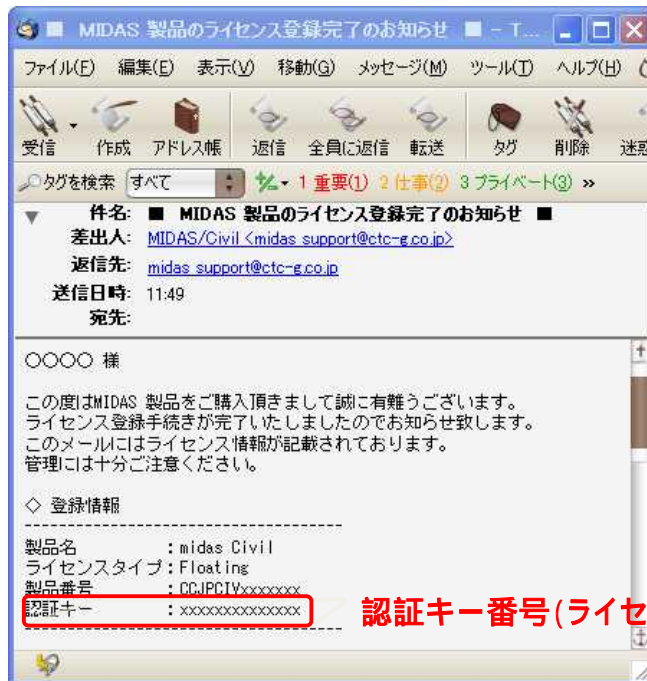
緊急用キー

何らかの問題によってウェブ認証サーバーにアクセスできなくなった場合、緊急処置として一時的に利用できるようにするためのものです。問題時に使用するために予め取得しておく事ができます。利用できる期間は起動日+1日となります。

～ STEP1 登録完了のお知らせ ～

WEB認証システムにお申し込み頂くとmidas_supportより下記のような登録完了メールを契約者様にお知らせします。

登録完了メールにはライセンス登録に必要な認証キー番号がありますので、管理にはご注意ください。



認証キー番号(ライセンス登録に必要となります)

～ STEP2 プログラムダウンロード ～

最新のプログラムを使用して頂く為に以下のサイトにアクセスしてください

- ・プログラムダウンロードサイト

http://www.engineering-eye.com/support/midas_civil/

の左側のメニューに『01_プログラム最新版』メニューがございます。

こちらから最新の日付のプログラムをダウンロードしてください

- ・ダウンロード用ユーザー名、パスワード

プログラムのダウンロードにはパスワードによる認証が必要です。

ユーザー名、パスワードが不明な場合にはページ最下段にある

『ユーザーID/パスワードお問い合わせ』からご連絡下さい。

ダウンロードサイト



ユーザーID、パスワード



～ STEP3 プログラムインストール ～

新しいバージョンをインストールする際に旧バージョンのアンインストールが行われます。旧バージョンを今後も利用したい場合には予め旧バージョンのインストールフォルダをコピーして別フォルダに保管してください。

例えば、『C:\program files\MIDAS\Midas Civil』に旧バージョンがインストールされている場合には、『Midas Civil2008』のように新しいフォルダにコピーします。

ダウンロードしたファイルを解凍します

setup.exeの他、2つのフォルダと複数のファイルが作成されます。解凍時にフォルダ構成を壊さない様に注意して下さい。

setup.exeをダブルクリックするとインストーラが起動します。

旧バージョンがインストールされている場合には以下のメッセージが表示されますのでOKをクリックし旧バージョンのアンインストールを行います。(このメッセージが表示されない場合には から継続してください)



アンインストール完了後、再度setup.exeをダブルクリックしインストーラを起動します。

以下のメッセージが表示される事を確認し、OKをクリックするとインストールが続行します



[次へ(N)>] ボタンをクリックしてインストールを実行します。

使用許諾契約は別途締結されております。[はい(Y)] ボタンをクリックします。

ユーザ名と会社名を入力し、[次へ(N)>] ボタンをクリックします。

インストールするフォルダを確認し、[次へ(N)>] ボタンをクリックします。

インストールするフォルダを変更したい場合は、[参照(R)...] ボタンをクリックし変更してください。

その後、インストール先フォルダを確認し、[次へ(N)>] ボタンをクリックします。

スタートメニューのフォルダを確認し、[次へ(N)>] ボタンをクリックします。

スタートメニューのフォルダ名を変更したい場合は、入力欄に新しいフォルダ名を入力するか、既存のフォルダリストから選択して下さい。

[完了(E)] ボタンをクリックし、インストールウィザードを終了します。

この時『Run MIDAS/Civil now』をチェックONして終了すると直ちにプログラムが起動します。

～ STEP4 ウェブ認証方法 ～

デスクトップにあるMIDAS/CivilアイコンをダブルクリックしMIDAS/Civilを起動します。
プログラムを起動すると自動的に右図の認証ページが立ち上がります。
立ち上がらない場合は、[ヘルプ]-[ライセンス認証方法の登録] をクリックしてください。

「リセット」ボタンをクリックし登録情報を初期化します

「Web認証」タイプを選択します。

プロテクションに情報を入力する前にユーザーIDを取得します。

「会員登録」ボタンをクリックして、会員登録を行います。

STEP2プログラムダウンロードで使用するID、パスワードは登録しないでください。

ユーザーIDは使用するパソコン毎に必要となります。

複数のIDで同じEmailアドレスは使用できません。

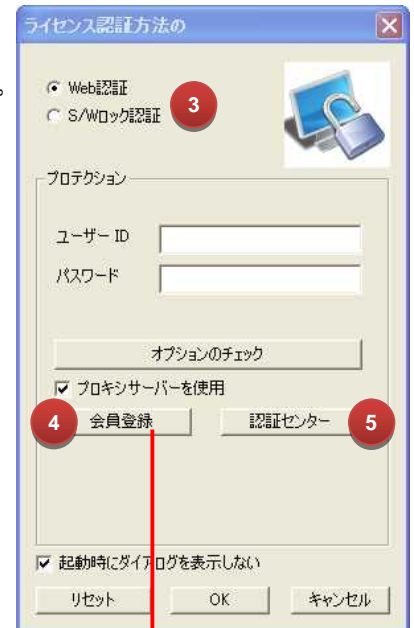
会員登録ページでEmailの重複登録があるというメッセージが出た場合

既にそのEmailでIDを取得しています。会員登録ページ左側の「ID、パス

ワードを忘れた方」よりお問い合わせ下さい

会員登録が終わったら、「認証センター」ボタンをクリックしてください。

認証センターでの登録はMIDASIT社から配布されるブラウザ拡張をインストールする必要があります。通常、ブラウザ拡張が必要な場合にはInternet Explorerであればアドレスバーの下に下図の様なクリーム色の帯状のポップアップが表示され、インストールを行う事ができます。



会員登録ページ



ブラウザでブラウザ拡張のインストールをしない設定であったりポップアップの表示を行わない様に設定されている場合にはブラウザ拡張がインストールされなくなりますのでブラウザの設定を変更して頂く必要があります。
ブラウザで以下の箇所をご確認ください

- ・ツール / ポップアップブロック / ポップアップブロックを有効にするというメニューが表示されている (現在はブロックが無効の状態です)
- ・ツール / インターネットオプション / 詳細設定 / サードパーティ製のブラウザ拡張を有効にするにチェックが付いている

～ STEP4 ウェブ認証方法 その2 ～

使用するユーザーIDとパスワードを入力した後で[ログイン]をクリックします。

正規版を選択して**メールにある認証キー**と、会員登録する際に登録したメールアドレスを入力して[OK]をクリックして、認証を行います。

製品を購入しても認証センターに登録していない場合はホームページにログインしても購入した製品情報を確認することができませんのでご注意ください。



会員登録ページで登録した
ID/パスワードを使用します

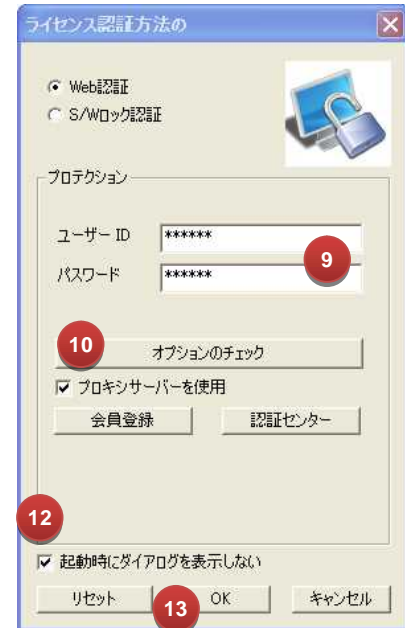


認証センターページ

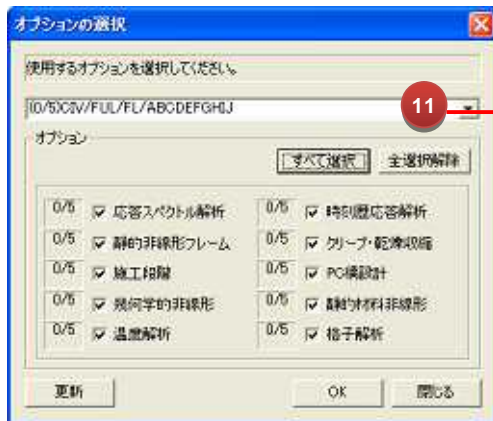
～ STEP4 ウェブ認証方法 その3 ～

登録したIDとパスワードを入力します。

「オプションのチェック」をクリックします。



クリックすると保有しているオプションから使用するオプションをチェックして [OK] をクリックします。デフォルトは「すべて選択」になっています。



< 表記の説明 >

- (0/5) (使用しているライセンス数/購入したライセンス数)
- CIV プログラム名称
CIV: midasCivil
- FUL 購入したモジュール名称
BAS: ベーシック
FEM: FEMセット
PCB: PC橋セット
PCD: PC橋動的のセット
PCF: PC橋FEMセット
PCH: PC橋温度応力セット
DYN: 動的解析セット
DYF: 動的FEMセット
FUL: フルセット
- FL Webライセンスの種類
FL: フローティングライセンス
NL: ノードライセンス
- A~J 使用可能なオプション名称 (下記10項目に相当)

初期認証時に入力したユーザーIDとパスワードは使用者のPCに自動保存され、次回のプログラムの起動時はこの過程が自動処理されます。最初に設定したデータをそのまま使用する場合は、「起動時にダイアログを表示しない」をチェックオンします。

[OK] をクリックした後で、メインメニューの[ファイル]-[新規プロジェクト] をクリックします。

ライセンスの認証に成功すると、プログラムが使用できます。

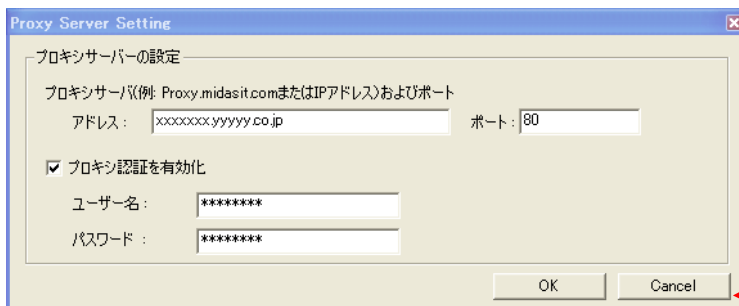
< 注意 >

認証番号は複数名で共通となりますが、同じユーザーID、パスワードを複数名で共有する事はできません。各ユーザー毎に個別に登録してください。

～ STEP4 ウェブ認証方法 Proxy認証が必要な場合 ～

貴社のセキュリティ環境により社外のインターネットコンテンツの閲覧にパスワード認証が必要な場合があります。以下の設定を追加する事によりMIDAS/Civilの起動時に上記パスワード認証を行う事ができます。

「**プロキシサーバーを使用**」のチェックをONすると以下のプロキシサーバー設定用ダイアログが表示されます。



Proxy Server Setting

プロキシサーバーの設定

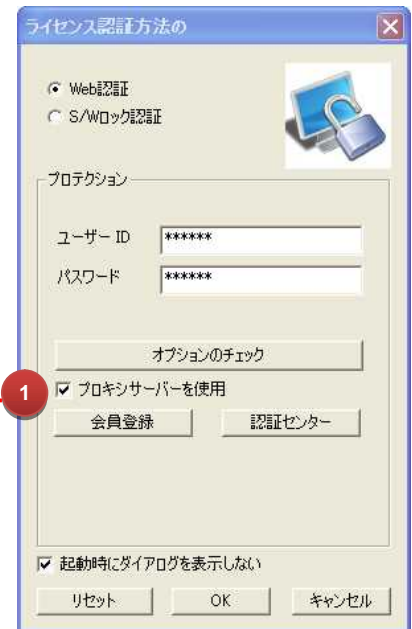
プロキシサーバー(例: Proxy.midasit.comまたはIPアドレス)およびポート
アドレス: xxxxxxxx.yyyyyy.co.jp ポート: 80

プロキシ認証を有効化

ユーザー名: *****

パスワード: *****

OK Cancel



ライセンス認証方法の

Web認証
 S/Wロック認証

プロテクション

ユーザー ID: *****

パスワード: *****

オプションのチェック

プロキシサーバーを使用

会員登録 認証センター

起動時にダイアログを表示しない

リセット OK キャンセル

この設定が必要な場合にはインターネットブラウザで同様の設定が行われています。ブラウザでの設定を参考にして必要事項を入力しOKします

～ 緊急用・出張用キー利用方法 ～

「SWロック認証」タイプを選択します。

プログラムのスタートページにある「緊急用・出張用キーID申請」をクリックします。
あるいは、[ホームページ] > [MY SPACE] に接続します。
<http://www.civil-eye-midas.com/membership/key.asp>

登録されている製品をクリックします。

出張用キー発行

出張用キーは、出張やプレゼンテーション等、ネットがご利用できない場所、
ウェブ認証の代わりにご利用下さい。

「出張用キー」タブをクリックします。

「使用期間」を入力します。(例:2009-05-31)

「使用目的」を入力します。(例:出張の際)

「ハードウェアID」を入力します。ハードウェアIDは、プログラムの[ヘルプ]
-[ライセンス認証方法の登録]のSWロック認証から確認できます。

使用するオプションを選択した後で、[申し込み] ボタンをクリックします。

発行されたキー番号は、[申し込み] ボタンの下にある「ソフトウェアロックの発行履歴」から[確認] をクリックすればコピーできます。

ダイアログの「キー番号」の部分に貼り付けてください。保存しておきたい場合はテキストファイルなどを作成してそれに貼り付けて保存してください。プログラムを使用する時にメッセージウィンドウに残り期間が表示されます。

緊急用キー発行

緊急用キーは、地震、火災などの天災地変または、何らかの問題によってウェブ認証サーバにアクセスできなくなった場合、緊急処置として一時的に利用できるようにするためのものです。問題時に使用するためには予め発行して保存してください。

「緊急用キー」タブをクリックします。

「ハードウェアID」を入力します。ハードウェアIDは、プログラムの[ヘルプ]-[ライセンス認証方法の登録]のSWロック認証から確認できます。

使用するオプションを選択した後で、[申し込み] ボタンをクリックします。

発行されたキー番号は、[申し込み] ボタンの下にある「ソフトウェアロックの発行履歴」から[確認] をクリックすればコピーできます。

ダイアログの「キー番号」の部分に貼り付けてください。
保存しておきたい場合はテキストファイルなどを作成してそれに貼り付けて保存してください。

